

報道関係者 各位

平成 30 年3月 19 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 中園 健一(内線 2578)

国家試験係長 高原 裕弥(内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

第 111 回歯科医師国家試験の合格発表について

平成 30 年2月3日(土)及び4日(日)に東京都他7カ所において実施した第 111 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,469 人	1,932 人	1,505 人	77.9%
全体	3,721 人	3,159 人	2,039 人	64.5%

第111回歯科医師国家試験の合格基準

第111回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 59点以上／99点
- ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅱ） 125点以上／169点
- ③ 領域C（各論Ⅲ～Ⅴ） 131点以上／205点
- ④ 必修問題 64点以上／80点

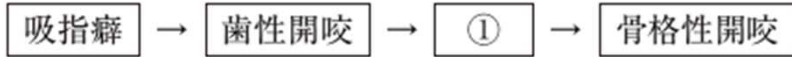
但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

とする。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 8 問

8 成長期における骨格性開咬の成立機序を図に示す。



①に入るのはどれか。1つ選べ。

- a 低位舌
- b 鼻呼吸
- c 舌突出癖
- d 咽頭扁桃肥大
- e ブラキシズム

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 11 問

11 上行大動脈から直接出るのはどれか。1つ選べ。

- a 冠状動脈
- b 椎骨動脈
- c 腕頭動脈
- d 左総頸動脈
- e 左鎖骨下動脈

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 23 問

23 シックハウス症候群の原因と考えられているのはどれか。1つ選べ。

- a 花 粉
- b PM2.5
- c イエダニ
- d アスベスト
- e ホルムアルデヒド

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理 由)

複数の正解があるため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 14 問

14 真菌に必須の構造物はどれか。1つ選べ。

- a 菌 髄
- b 菌槽骨
- c 象牙質
- d エナメル質
- e セメント質

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 32 問

32 2歳児の恐れの対象はどれか。3つ選べ。

- a 大きな音
- b まぶしい光
- c 一人でいること
- d 見慣れないもの
- e 危害を加えそうな人

(採点上の取り扱い)

4通りの解答を正解として採点する。

(理由)

4つの選択肢が正解であるため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 43 問

43 矯正用プライヤーの写真(別冊No. 3)を別に示す。

角線の屈曲に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

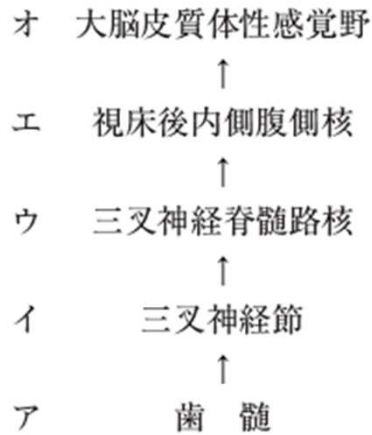
(理由)

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 6 問

6 歯髄炎の痛みの上行性伝導路の一部を図に示す。



非ステロイド性抗炎症薬が作用するのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 7 問

7 3歳児歯科健康診査における診査項目で「異常なし・あり」と記載するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯の状態
- b 歯の汚れ
- c 不正咬合
- d 歯肉・粘膜
- e むし歯の罹患型

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 8 問

8 咀嚼能力評価において、直接的かつ客観的な指標として用いられるのはどれか。

1つ選べ。

- a 下顎運動路
- b 食品摂取票
- c 唾液分泌量
- d 咀嚼筋筋電図
- e グルコース溶出量

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 13 問

13 混合歯列期後期以降に大きくなるのはどれか。1つ選べ。

- a 発育空隙
- b 歯列弓周長
- c 歯列弓長径
- d 第一大臼歯間幅径
- e リーウェイスペース

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 14 問

14 肝硬変症で低下する検査項目はどれか。1つ選べ。

- a ALT
- b 白血球数
- c アルブミン
- d クレアチニン
- e プロトロンビン時間

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理由)

複数の正解があるため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 18 問

18 定型発達児における構音機能の完成時期はどれか。1つ選べ。

- a 1歳
- b 3歳
- c 5歳
- d 9歳
- e 12歳

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 20 問

20 血圧を低下させるのはどれか。1つ選べ。

- a レニン
- b ヒスタミン
- c バソプレシン
- d アルドステロン
- e アンジオテンシンⅡ

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 89 問

89 65歳の男性。右側頬粘膜と下唇の異常を主訴として来院した。3か月前に気付いたが、疼痛がないためそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 40A)と生検時のH-E染色病理組織像(別冊No. 40B)を別に示す。

引き続き精査すべき疾患はどれか。2つ選べ。

- a 糖尿病
- b 高血圧症
- c 気管支喘息
- d 甲状腺機能亢進症
- e 消化管ポリポーシス

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

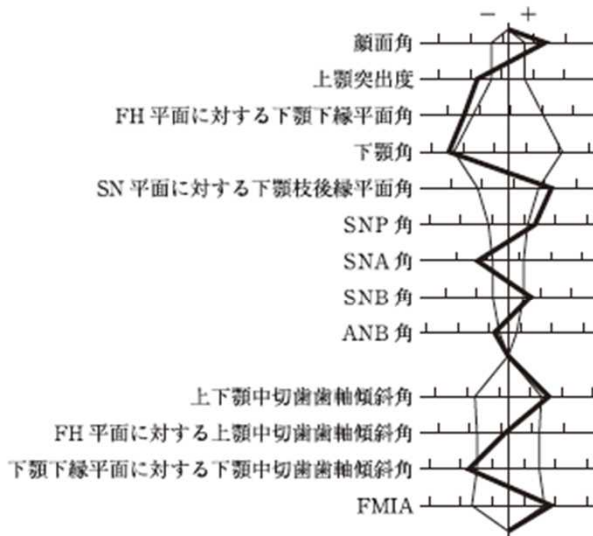
(理由)

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第111回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 71 問

71 17歳の女子。前歯部の反対咬合を主訴として来院した。これまで口唇口蓋裂の治療を受けている。診断の結果、外科的矯正治療を行うこととし、治療計画を立案した。初診時の顔面写真(別冊No. 17A)、口腔内写真(別冊No. 17B)、エックス線画像(別冊No. 17C)及び側面頭部エックス線規格写真(別冊No. 17D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



動的治療終了後に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合斜面板
- b 舌側弧線装置
- c アクチバツール
- d トゥースポジショナー
- e Beggタイプリテーナー

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第102回	平成21年2月7～8日	3,531 (2,516)	2,383 (1,915)	67.5 (76.1)
第103回	平成22年2月6～7日	3,465 (2,355)	2,408 (1,921)	69.5 (81.6)
第104回	平成23年2月5～6日	3,378 (2,356)	2,400 (1,928)	71.0 (81.8)
第105回	平成24年2月4～5日	3,326 (2,311)	2,364 (1,882)	71.1 (81.4)
第106回	平成25年2月2～3日	3,321 (2,373)	2,366 (1,907)	71.2 (80.4)
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 (2,241)	2,025 (1,642)	63.3 (73.3)
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 (1,995)	2,003 (1,457)	63.8 (73.0)
第109回	平成28年1月30～31日	3,103 (1,969)	1,973 (1,436)	63.6 (72.9)
第110回	平成29年2月4～5日	3,049 (1,855)	1,983 (1,426)	65.0 (76.9)
第111回	平成30年2月3～4日	3,159 (1,932)	2,039 (1,505)	64.5 (77.9)

※()内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%)	合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数		男女別合格率(%)	
				男性	女性	男性	女性
第107回 (平成26年)	受験者数(人)	3,200	1,998 (62.4)	1,202 (37.6)	59.8	69.1	
	合格者数(人)	2,025	1,194 (59.0)	831 (41.0)			
第108回 (平成27年)	受験者数(人)	3,138	1,955 (62.3)	1,183 (37.7)	58.9	72.0	
	合格者数(人)	2,003	1,151 (57.5)	852 (42.5)			
第109回 (平成28年)	受験者数(人)	3,103	1,984 (63.9)	1,119 (36.1)	59.6	70.6	
	合格者数(人)	1,973	1,183 (60.0)	790 (40.0)			
第110回 (平成29年)	受験者数(人)	3,049	1,952 (64.0)	1,097 (36.0)	61.7	71.0	
	合格者数(人)	1,983	1,204 (60.7)	779 (39.3)			
第111回 (平成30年)	受験者数(人)	3,159	1,924 (60.9)	1,235 (39.1)	60.4	71.0	
	合格者数(人)	2,039	1,162 (57.0)	877 (43.0)			

第111回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
新卒 平成29年4月～平成30年3月	1回	1,932	61.2	1,505	77.9
既卒 平成28年4月～平成21年3月以前	2回	625	19.8	343	54.9
	3回	254	8.0	113	44.5
	4回	95	3.0	37	38.9
	5回	58	1.8	19	32.8
	6回	37	1.2	14	37.8
	7回	20	0.6	3	15.0
	8回	21	0.7	2	9.5
	9回	16	0.5	2	12.5
	10回以上	101	3.2	1	1.0
	計		1,227	38.8	534
総計		3,159	100.0	2,039	64.5